

表面被覆材の押抜き試験

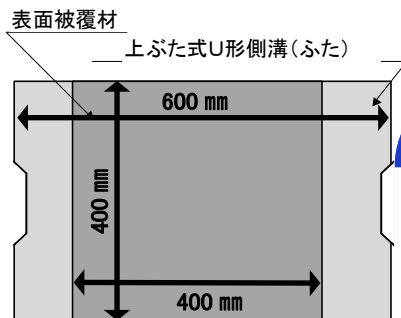


一般財団法人

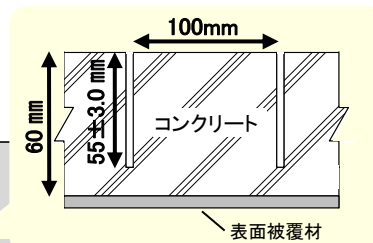
日本建築総合試験所

表面被覆材を対象とし、コンクリート片の剥落抵抗性を試験します。

試験体



反対面

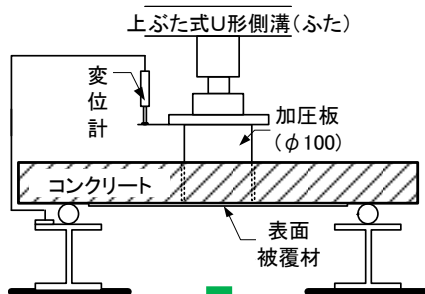


註) 当センターでは試験体の削孔処理はしておりません。また、試験体にアンカー等を施工しないようお願いします。

JIS A 5372 付属書 E に規定する上ぶた式 U 形側溝(ふた)の 1 種呼び名 300(400×600×60 mm)の表面において、400×400 mm の範囲を被覆します。

上の図に示すとおり、表面被覆材施工面の反対面の中央部において、直径約 100 mm、深さ 55±3.0 mm の範囲を削孔します。

試験方法

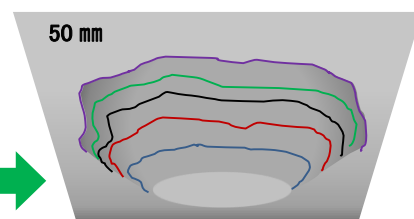
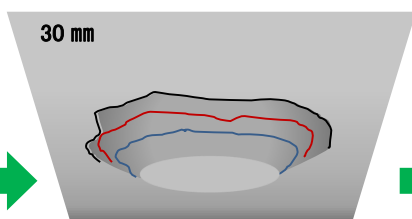
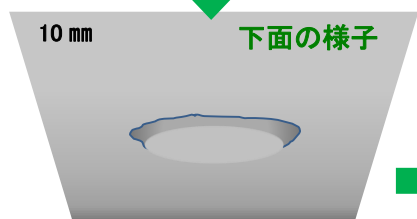


・試験体の養生

試験前、温度 23±2℃ の恒温の室内で 48 時間以上静置します。

・試験の方法

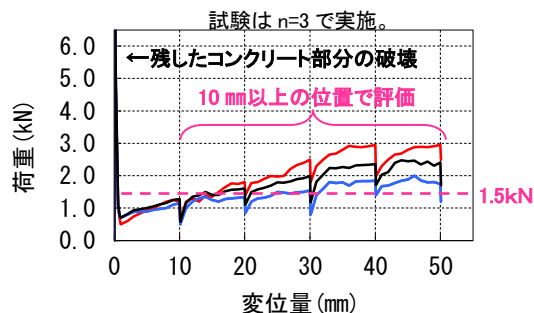
削孔を行った面を上にして載荷します。変位量が 10 mm に到達した際に載荷を一時中断し、剥離範囲をマーキングします。これを変位量 10mm ごとに繰り返し、最大で変位量が 50 mm に到達するまで載荷を行います。



試験結果

試験結果の一例を、右の図に示します。

性能の水準を定めている例として、NEXCO の試験規格では、変位量が 10mm 以上の範囲において、最大荷重の平均が「1.5kN 以上」となるよう規定しています。



【関連規格】 NEXCO 試験方法 第 4 編 構造関係試験方法 試験法 424 はく落防止の押抜き試験方法

土木学会 コンクリート片のはく落防止に適用する表面被覆材の押抜き試験方法(案) (JSCE-K 533)

JIS A 5372 「プレキャスト鉄筋コンクリート製品」